



阿蘇の福祉と幼児教育に人生を捧げた「フリース先生」を知ってほしい

昭和5年に一の宮町に教会と保育園をつくり、阿蘇の子どもたちに無償の愛を注ぎ続けた英国人「メイ・フリース女史」の功績と人間愛を綴った記録集が、熊本日豪協会（谷脇源資会長）により出版され、阿蘇市へ100冊が寄贈されました。今後も毎年寄贈し計500冊を贈られるとのことです。市長室で行われた贈呈式には谷脇会長ほか、教え子で保育園跡地（宮地）に記念碑を建立した「フリース先生を偲ぶ会」の家人規夫さん（82歳、宮地）や荒木伸子さん（大津町）も出席。「先生を今の時代でまた思い出してもらえてうれしいです」と述べ、協会は「女史の生き方から多くのことを感じてほしい」と市民の皆さんに伝えられました。本は図書館など公共施設に置いてありますのでぜひご覧ください。



本の贈呈式の様子

高齢者よい歯のコンクール最優秀賞に小山キミ子さん

阿蘇地域歯科保健連絡協議会主催の第13回「阿蘇の歯まつり」が6月21日、南阿蘇村で開催され、その中の高齢者のよい歯のコンクールで小山キミ子さん（80歳、宇土）が見事、最優秀賞を受賞されました。小山さんは、なんと28本健康な自分の歯を持っています。「子どもの頃から阿蘇のおいしい水を飲んでいることがよいのかもしれません。歯が丈夫なおかげで、何でもおいしく食べることができ、体も健康です。今はより意識して歯みがきするようになりました。このような賞をいただけてとてもうれしいです」と受賞の喜びを語られました。



阿蘇からのお宝の鑑定結果はいかに？！



テレビ番組「開運！なんでも鑑定団 in 阿蘇」の収録が6月22日、阿蘇いこいの村であり、中島誠之助さんら3人の鑑定士が6人の出展者とともに愉快にお宝を鑑定しました。会場には320人が観客として訪れ、約2時間、前座の楽しい話とハラハラドキドキの収録を楽しみました。

この時の模様は、8月17日の正午からT KUで放送されます。ぜひ、ご覧ください。

阿蘇の魅力を発掘・発信！



阿蘇市女性団体連絡協議会（神保京子会長）主催の研修会が7月11日行われました。地元でどのような施設があるかを知り魅力あるものはPRしていこうという趣旨から、今回は国立阿蘇青少年交流の家に完成した石窯を使った「ピザ作り」を体験しました。参加したのは会員120人で、400で3分で焼ける石窯ピザは大好評でした。魅力の発信は口コミが一番！これからも魅力あるものをどんどん発掘してほしいものです。

*石窯は、国立阿蘇青少年交流の家（22-0811）や、なみの高原やすらぎ交流館（23-0555）で利用することができます。